

鉱業と製造業の間にはトレードオフが存在するのか？ —モンゴル国における実証分析(要旨)

モンゴル国立大学経済学部 バトトグトボル エンフマー
モンゴル国立大学経済学部 ドブチンスレン ハリオン

要 旨

本研究は、モンゴル国における天然資源部門への極度の依存が経済に悪影響を及ぼす、つまり製造業の衰退を招いているのではないか、という主張のもと行われた。結果はこの議論を支持するものである。成長する資源部門と製造業の間には長期的に負の関係があり、資源部門の10%増加に対して、製造業は1～2%減少している。さらに、2010年から負の関係が正の関係に変化したことを示す構造変化が観察された。

キーワード: 製造業、豊富な天然資源、資源の呪い、オランダ病、VECM、ARDL

JEL分類: F14、F15、O13、O14、Q33